

# 県立中央病院連携室だより

## -ともに歩む地域医療-

Vol.35

●発行日 平成 31 年 1 月  
●発行 岩手県立中央病院 地域医療福祉連携室 〒020-0066 盛岡市上田1-4-1 TEL 019-653-1151 (代)  
●URL <http://www.chuo-hp.jp/>

### 《地域医療連携推進の基本方針》

1. 顔の見える連携
2. 地域連携パスと逆紹介の推進
3. 紹介患者の迅速予約と優先診療
4. PHS による Dr.Direct Call
5. 24 時間救急受け入れ体制
6. 地域医療福祉連携室を通じた地域包括型連携の推進
7. 高額医療機器の共同利用推進
8. 地域医療研修センターの利用の推進



## 新年ご挨拶

地域医療福祉連携室長 菊池 貴彦



新年あけましておめでとうございます。

平成最後の正月を皆様どのようにお過ごしになりましたでしょうか。

昨年も多くの記憶に残る出来事がありました。スポーツ界におけるパワハラ問題、もはや恒常化して「異常気象」とも言えなくなった自然災害、大企業会長の何十億もの報酬隠しなどなどネガティブなニュースもあれば、岩手の誇り、大谷選手のメジャー新人王獲得などうれしいニュースもありました。

当院に関するニュースとしましては、昨年4月に宮田院長体制となり新たな気持ちでスタートダッシュを決めたとともに労働基準監督署からの是正勧告を受けました。岩手県立病院のセンター病院として、また盛岡二次保健医療圏の救急の要として当院に期待される役割は大きいのですが、そのため労働基準法に反するほど医師を働かせすぎるという結果になっていたようです。当院への救急車の搬送台数は年ごとに増え、昨年はずいぶん年 7000 台を突破しました。このことは新聞にも載りましたが、全国的な医師専門サイトでも取り上げられ、匿名のコメント欄には「そんな病院では働きたくない」「周りは断る病院ばかりなんだ」「救急のみに特化して一般外来なんかやめればいいのに」などという、無責任（というよりは地方の医療体制に対する無理解）なコメントが寄せられていました。ご存じのとおり岩手県は医師の数が少なく、医師確保はなかなか進みません。その中で医療を縮小させずに各医師の負担を少なくするにはどうすれば良いか、院内でも様々な工夫、取り組みを行っている最中です。また今年秋には岩手医科大学附属病院の矢巾移転も控え、救急入院患者さん用のベッドをどのように確保するかが喫緊の問題です。当院での初期治療を終えた患者さんを、今までよりも早めに地域の病院にお願いすることが必要になってくるものと考えます。

当院が高度急性期病院としての役割を発揮するために、地域の病院、診療所の皆様との連携を今まで以上に緊密かつ簡潔にするよう中央病院地域医療福祉連携室は努力してまいります。

本年もよろしくお祝い申し上げます。



# 患者さんに優しい切らない治療を目指して

## —脳神経外科の紹介—

脳神経外科長 木村 尚人

平成30年4月より脳神経外科の科長を拝命しました木村尚人です。

平素より地域の先生方におかれましては、患者さんのご紹介、並びにフォロー、転院を受け入れして下さる病院につきましては、患者さんの迅速な受け入れ、およびその後のご加療、リハビリをはじめとするフォローをいただき誠にありがとうございます。



脳神経外科に対する皆様のイメージは如何でしょうか？

手術で頭を切られるというイメージが大きいと思います。そのイメージは半分正しく、半分は劇的に変化しております。

脳神経外科は脳出血、くも膜下出血、脳梗塞など脳卒中に対する治療を神経内科とともに行っております。また脳腫瘍、頭部外傷、顔面痙攣などの機能外科に対する集約的治療も行っております。

脳卒中の分野ではカテーテル治療が大きく躍進しており、当院には4人の脳血管内治療専門医がおります。くも膜下出血に対するコイル塞栓術、脳梗塞発症急性期の血栓回収術など神経内科と強力なタッグを組み、24時間365日受け入れ、治療を行える体制をとっております。

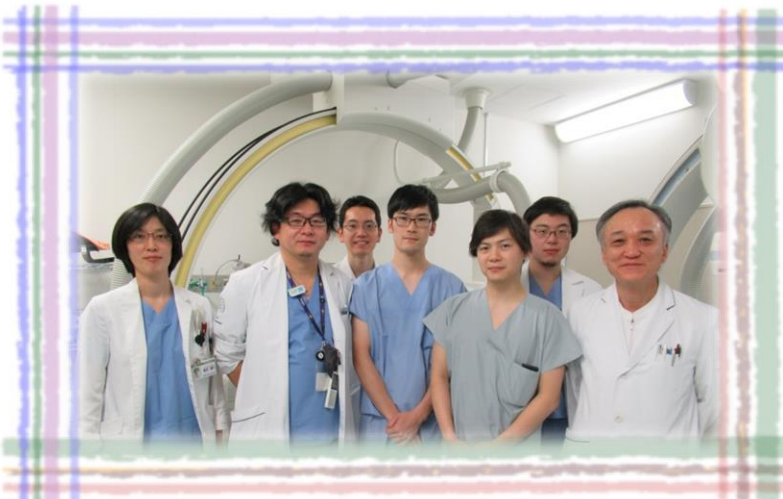
脳動脈瘤のコイル塞栓術は年間100件以上、血栓回収も60件以上と、どちらも東北有数の症例数を誇っております。また金属のメッシュのステントのみで脳動脈瘤が治る、フローダイバーターステントが行える北東北唯一の病院となっております。全国に誇れる安全、確実なレベルの高いカテーテル治療の提供を心がけております。

脳腫瘍、脳内出血、外傷に対する外科治療は、以前は開頭手術がメインでしたが、脳内視鏡の登場により、現在では非常に小さな頭の傷、または傷の見えない鼻の穴の中から摘出可能なものもあります。

脳神経外科の横沢路子医長はその内視鏡の技術認定医師であり、低侵襲脳内視鏡治療を手がけております。

中央病院脳神経外科は、昨年度バリエーションに富む500件以上の手術を行いました。そのうち約半数の250件が血管内治療や脳内視鏡で行われております。

しかしながら、低侵襲が必ずしも良い結果を生むわけでは無く、従来の治療の方が安全と判断した場合には現在も従来通りの開頭手術を行っております。



治療のバリエーションに富むため、何かございましたらいつでもご相談いただければ迅速に対応いたします。

岩手県全域の脳疾患の患者さんを一人でも多く救うべく、地域医療に関わる皆様と連携を密に治療を行って参りたいと思いますので、何卒よろしくお願ひ申し上げます。



# 登録医

## ご紹介コーナー



今回は、盛岡市の

『おどおり鎌田内科クリニック』をご紹介します。

岩手県立中央病院の諸先生方、およびスタッフの皆様には、日頃大変お世話になっております。この場をお借りして、厚く御礼を申し上げます。

医療法人健貢会・おどおり鎌田内科クリニックは、平成14年1月に開業し、この1月で早や18年目を迎えました。「盛岡市の繁華街・大通商店街の真ん中」、一方通行の道路に面した場所にあります。両隣が酒屋さんと居酒屋さんです。

間口は三間余りと狭く、外観写真でお分かりのように、これまた決して広くはない入口が向かって右側にあります。風除室などもなく、入口の奥にすぐ待合室があり、一秒で受付窓口に向き着きます。奥に長い「いわゆる鰻の寝床」のような建物です。

診察室は3つありますが、医師は院長ひとりのみですので、患者さんに予め診察室に入ってお待ちいただき、院長が部屋を渡り歩くというイメージで診療をしています。

スタッフは非常勤も含めて、看護師3人、臨床検査技師2人、管理栄養士2人、医療事務員3人などです。毎日忙しく働いていただいております。

主な診療科目は、内科と循環器内科です。専門医資格は、総合内科専門医と循環器専門医などを取得しています。高血圧症や脂質異常症、糖尿病、高尿酸血症、肥満症などといった、食生活や運動習慣などにも関連した「生活習慣病」の患者さんの診療を担当させていただいております。

さらには、心筋梗塞症や狭心症、心臓弁膜症、不整脈、心臓外科手術やカテーテル治療などの「侵襲的治療後」の患者さんなどにも、お付き合いいただいております。

もちろん、いわゆる「かぜ症候群」の患者さんも多い印象です。広く内科一般の患者さんが気軽に初診として訪れる「なんでも屋」の無床診療所です。自分で解決できないことも多く、速やかに病態を整理して「診察連携や診病連携」を駆使しながら、より専門的な医療機関に患者さんをお願いしている、という現状です。

患者さんなどへの教育・啓蒙活動として、①中央病院の先生方にもご登壇いただいている「おどおり健康教室」や、②ラヂオ盛岡の「街医者の健康ガイド」、③盛岡タイムスの「街医者の公開クリニック」などの「診療時間外の集団的指導」も継続しています。

さて、今年も中央病院の関連施設のひとつとしてご登録いただき、ありがとうございます。思えば私自身は31年ほど前に、中央病院で「初期臨床研修」をさせていただきました。現在の研修医制度の一回生でした。

その縁もあり、現在も連日、精密検査やカテーテル治療、手術治療など、入院や外来などで継続医療が必要な患者さんを、中央病院の各科の先生方にご紹介しています。いつも快くお引き受けいただいております、心より感謝するものです。

地域医療を通して、多くの皆さまの健康な生活のお役に立てる医療機関であり続けるよう、尚一層の努力・精進をしていきたいと思います。今後とも、どうぞよろしくお願い申し上げます。



おどおり鎌田内科クリニック  
鎌田 潤也（かまた じゅんや）先生



おどおり鎌田内科クリニック							
住 所	〒 020-0022 盛岡市大通2-7-23						
電 話 / FAX	☎ 019-606-5161 / FAX 019-625-1080						
診 療 科 目	内科・循環器内科・呼吸器内科・リハビリテーション科						
診 療 時 間	9:00~12:30	●	●	●	●	●	休
	14:00~18:00	●	●	休	●	●	休
休 診 日	日曜日・祝祭日						
入 院 の 可 否	否						

登録医ご紹介コーナーに登場して下さる先生を募集しております。地域医療福祉連携室にご連絡ください！

当院の臨床検査技術科には臨床検査技師 43 名が在籍し、24 時間体制で緊急検査に対応しております。主要な自動分析装置は 2 台以上配置し、故障や保守点検時でも患者さんへの影響が最低限で済む体制を構築しています。医療の高度化・専門細分化に伴い検査技師が担当する領域は多岐に渡り、日常検査として生化学・血液・尿検査などの検体検査、岩手県初の I&A（輸血機能評価）認定施設として輸血の安全性向上を先導する輸血検査、院内感染管理・抗菌薬適正使用における重要な役割を担う細菌検査、細胞診・術中迅速標本作成や解剖補助にも対応する病理検査、各種超音波検査・心電図・脳死判定における脳波測定などの生理検査があります。取得資格も細胞検査士・超音波検査士・認定輸血技師など様々あり、チーム医療の一員として医師や看護師からの依頼や要望に迅速に応えられるよう進めています。



以前より臨床検査技師は検査科内で業務を行うことが多く、患者さんや他の職員との接点が少ない職種でした。そこで当科はその閉鎖的なイメージを払拭すべく平成 26 年度から「開かれた検査室」をスローガンに様々な取り組みを始めました。

『臨床検査技師による検査説明』では、予約不要でいつでも検査技師が検査内容や項目に関すること（診断や治療に関する以外）などを説明する場を設置しました。現在までに 140 名が利用し非常に好評です。また技師一人一人が各病棟の担当技師となり採血管の管理や補充、ミーティングにも参加し検査科の窓口として活動する『病棟外来担当技師制』も実施しています。さらに検査技師の早出勤務を開始し、外来検体の測定開始を繰り上げるとともに『採血予約時間制』を導入。採血室の混雑緩和・検体の分散化により患者さんの院内滞在時間軽減を目指しています。

これからも患者さんや多職種から顔が見える関係を構築し、検査室から外へ活動の場を広げていきたいと思っています。

### ◆県立中央病院イベント情報◆

#### ◆第 23 回 糖尿病ネットワーク勉強会◆

日時：平成 31 年 2 月 28 日（木）19 時 00 分～20 時 00 分  
テーマ：『炭水化物を上手に摂って血糖コントロールに役立てよう』  
対象：糖尿病治療に携わる医師、看護師などの医療従事者、  
糖尿病患者に関わるケアマネジャー、訪問看護師、  
介護福祉士などの介護従事者  
講師：総合診療科医長 橋本 洋、栄養管理科 管理栄養士  
会場：岩手県立中央病院 4 階大ホール  
※参加費、事前申し込み不要  
お問い合わせ：総合診療科外来 TEL 653-1151（内線 2157）

#### ◆第 61 回 健康講座◆

日時：平成 31 年 3 月 9 日（土）14 時 00 分～  
テーマ：「万人の悩み ひざの痛み ～手術をしない治療から最新手術まで～」  
対象：一般市民  
講師：整形外科医長 小野田 五月  
理学療法士 穂高 弘和  
会場：プラザおでって（盛岡市中ノ橋 1-1-10）  
※参加費、事前申し込み不要  
お問い合わせ：業務企画室 TEL 653-1151（内線 2384）



### MRI 撮影に関するお知らせ

当院に設置されている MRI 撮影装置 1 台が、更新工事のため 1 月下旬から 3 月下旬まで使用できなくなります。

上記期間中は他の 1 台のみの運用となるため、MRI 撮影を目的にご紹介いただいた患者さんの撮影日をご希望に沿えない場合がございます。

ご理解ご協力のほど、お願い申し上げます。